

## 豊橋市入札監視委員会要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、豊橋市附属機関設置条例（令和6年豊橋市条例第3号）第4条の規定に基づき、豊橋市入札監視委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(委員会の事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 豊橋市（市長が適当と認める団体を含む。以下同じ。）が行った入札・契約手続の運用状況等についての報告を受けること。
- (2) 豊橋市が行った入札・契約手続のうち委員会が抽出指定したのものに関し、一般競争入札参加資格の設定の理由及び経緯並びに指名競争入札に係る指名の理由及び経緯等についての審議を行い、市長に対して意見の具申又は勧告を行うこと。
- (3) 豊橋市が発注した入札及び契約手続に係る再苦情処理について審議すること。

(委員会の委員及び組織)

第3条 委員は、見識を有し公正中立の立場を堅持できる者の中から、市長が委嘱する。

2 委員会は、委員4人以内で組織する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任することができる。

5 委員は、非常勤とする。

6 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

7 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

8 委員の氏名及び職業は公表するものとする。

(会議)

第4条 第2条第1号及び第2号の事務に係る会議（以下「定例会議」という。）は、原則として年に2回開催し、同条第3号の事務に係る会議（以下「再苦情処理会議」という。）は、再苦情処理の必要に応じて開催する。

2 会議は非公開とする。ただし、会議後に議事の概要を公表するものとする。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(意見の具申又は勧告)

第5条 委員会は、第2条第1号及び第2号の事務に関し、報告の内容若しくは審査した入札・契約手続に係る理由、経緯等に不適切な点又は改善すべき点があると認めたときは、必要な範囲で、市長に対して意見の具申又は勧告を行うものとする。

2 委員会は、前項の意見の具申又は勧告を行った場合に、必要があると認めるときは、その内容を公表することができる。

(再苦情処理)

第6条 委員会は、市長から再苦情について審議の依頼があったときは、再苦情の申立てがあった日の翌日から起算して30日以内に再苦情処理会議を開催し、審議を行う。

2 委員会は、前項の審議を終えたときは、意見書を作成し、その結果を速やかに市長に報告するとともに、必要があると認めるときは、これを公表する。

(委員の除斥)

第7条 委員は、第2条第2号及び第3号の事務に関して、自己又は3親等以内の親族の利害に関係のある議事に加わることができない。

(秘密を守る義務)

第8条 委員は、第2条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委員会の庶務)

第9条 委員会の庶務は、財務部契約検査課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。